

第426号

2024年
9月25日

月1回25日発行



発行所 原発問題住民運動全国連絡センター
発行人 持田繁義/1部300円 年間3,000円
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
MMビルII 402
TEL 03-5215-0577 FAX 03-5215-0578
郵便振替 00150-7-355202
ホームページ http://genpatu.com/index.html
メール=genpatu-c@bizimo.jp

全国交流集会特別号



原発動向、運動の交流をする全国交流集会

「『老朽原発 全ての原発の廃炉を求める』全国交流集会 in 敦賀」

「記念講演」「特別報告」を聞いて「全ての原発は廃炉」の認識を深める

原発問題住民運動と原発問題住民運動福井県連絡会、同嶺南センター共催による「『老朽原発 全ての原発の廃炉を求める』全国交流集会 in 敦賀」が9月22日午前10時～15時30分まで、敦賀市内のニューサンピア敦賀で開催された。全国から100人が参加した。集会内容は、在場参加者にはYouTubeで送信された。全国交流集会は、別記プログラムに沿って行われた。後藤政志さんの記念講演「老朽原発を語る」は、「2005年までに起きた主な事故・故障」から始まる老朽原発の現状と問題点について全面的かつ具体的に説明されたもので、参加者は改めて老朽原発の危険を学ぶこととなった。

全国交流集会のプログラム

司会 柳町秀一・原住連事務局長

- 一、開会あいさつ
山本 雅彦さん (原発住民運動福井・嶺南センター)
- 一、来賓あいさつ
中島 哲演さん (原発設置反対小浜市民の会)
木下 興さん (原発をなくす全国連絡会)
山本富士夫さん (日本科学者会議)
笠井 亮さん (日本共産党国会議員団)
- 一、記念講演「老朽原発の危険を語る」
後藤政志さん (元東芝原子炉設計者)
- 一、特別報告「能登半島地震の原発への警告」
立石雅昭さん (新潟大学名誉教授・地質学)
- 一、昼食
- 一、反原発の歌「福井のうた」こえ合唱団
- 一、問題提起 持田繁義・原住連筆頭代表委員
- 一、各地からの報告
- 一、「若狭湾からのアピール」提案と採択
- 一、集会の「まとめ」 持田繁義・筆頭代表委員
- 一、閉会あいさつ

林 広員さん (原発問題住民運動福井県連絡会)

○「若狭湾からのアピール」(二面)

○「柏崎刈羽原発」で関係閣僚会議とは(四画)

○米が核配備方針改訂(五画)



●岸田文雄政権が掲げる「戦争する日本」

「原発回帰」路線は、裏金政治の到達点であり、日本の未来を閉ざす最悪の道である。国民の批判に直面して退陣を余儀なくされた●岸田首相は、柏崎刈羽原発の再稼働に、なりふり構わず介入している。経産相、資源エネルギー庁長官はじめ幹部ら執拗に新潟県に行かせている。「国が前面に立つ」として、新潟県内の経産省、原子力規制委員会の説明会まで行っている●その総仕上げ、原子力関係閣僚会議を通じての介入である。岸田首相は、原発事故時の避難道路の確保への関係省庁に特別の支援を指示した。1 原発への再稼働へのこの介入は異常である●この新潟県の特別扱いに原発立地自治体からは、避難道路などどこでも同じものだ、不公平ではないかの批判の声上がる。もともと、原発災害の想定を前提とする原発を、エネルギーの選択支とすることはありえないことである。再生可能エネルギーへの転換のときである。イタチの最後っ屁は、こめんである。